

特集

脊椎疾患・関節疾患による 慢性疼痛治療 update

整形外科を標榜する医療機関には毎日慢性疼痛を抱える多くの患者が来院する。我々はこれらの患者に対し様々な手段を駆使しながら疼痛の治療に当たっている。しかし必ずしもその結果は良いとはいえず、満足度の高くない患者が少なからず存在しているということも事実であり、このことを多くの医師は認識している。その問題を解決する一助として「脊椎疾患・関節疾患による慢性疼痛治療 update」をテーマとする特集の企画を行った。

本特集ではまず慢性疼痛の概念と捉え方を解説した。続いて脊椎疾患・関節疾患による慢性疼痛の治療として、薬物療法、外科治療、理学療法を示した。さらに、心理的アプローチ、集学的治療にも触れている。執筆者はいずれも担当された分野の専門家であり、現場の第一線で日々慢性疼痛を有する患者と相対し、痛みの治療に取り組んでおられる先生方である。

ご存知のように慢性疼痛の治療は一筋縄ではいかない。様々な治療法がある。しかしここにあるように様々な治療が示されているということは、逆に特効的な治療法がないということの証左でもある。大局的な観点から、我々には各治療法の適応、成績、問題点については、ある程度把握しておく必要があると思われる。それぞれの稿では、専門的立場からこの点についてわかりやすく、丁寧に解説をいただいた。本企画が、慢性疼痛に日々対峙している先生方の診療に、少しでもお役立ていただければ幸いである。

(川口善治)